

# ◇ 標準塗装仕様書 ◇

AGCコーテック株式会社

◇工法名	ボンフロンGT WR-100HBSR工法		
◇適用素地	普通コンクリート、スレート、押出成型セメント板、ガラス繊維補強セメント板(既存塗膜が無い場合)		
◇使用材料	下塗1	ボンカチオンプライマー	15.0 kg/缶
	下塗2	ボンHBサーフェーサーR	16.0 kg/缶
	中塗	ボンフロン水性W#1500中塗	15.0 kg/缶
	上塗	ボンフロン水性GT-SR	15.0 kg/缶

工程	使用材料	調合 粉体:混和液	希釈率 (%)	標準所要量 <sup>注1</sup> (kg / m <sup>2</sup> )	塗 回数	塗装間隔(23℃)		施工方法
						工程内	工程間	
素地調整	被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。							
1 下塗1	ボンカチオンプライマー	:	0	0.10 ~ 0.20	1	-	2h以上	刷毛 ローラー エアレス
2 下塗2	ボンHBサーフェーサーR	:	清水	0.80 ~ 1.20	1	-	16h以上	砂骨ローラー ウールローラー
			2 ~ 5	0.30 ~ 0.50				
3 中塗	ボンフロン水性W#1500中塗	:	清水	0.13 ~ 0.16	1	-	4h以上	刷毛 ローラー エアレス
			0 ~ 15	0.15 ~ 0.18				
4 上塗	ボンフロン水性GT-SR	:	清水	0.13 ~ 0.16	1	-	-	刷毛 ローラー エアレス
			0 ~ 5	0.15 ~ 0.18				
合 計					4			

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率(%)
刷毛, ローラー	80~100
エアレススプレー	60~80
各種吹付けガン	50~70

注2) ボンフロン水性W#1500SR II の所要量は標準所要量を下まわらないでください。

所要量が標準所要量に満たない場合は隠蔽不良となります。

塗装時、塗り付けた塗料を延ばすことはさけてください。

本材料は粘稠性が高いので、塗り広げることは出来ませんが、塗り広げますと隠蔽不良の原因になります。